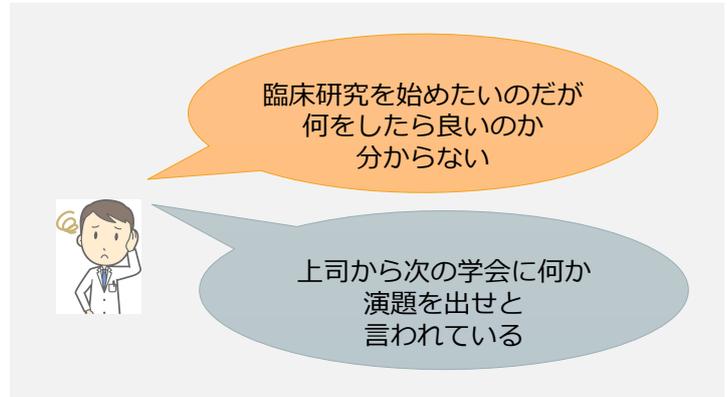


## 臨床研究のアイデアはどこを探せば良いのか：まず後向き症例集積研究を

研修医の頃には指導医から臨床研究の課題が与えられることが多いと思います。その後は、専門医取得などのステップアップのために臨床研究を行って学会発表や論文執筆をしなくてはいけなくなります。ところが、いざ臨床研究を計画しようとしても、どのようにしたら良いか分からない場合に遭遇することがあります。



- そんな場合には「**学会の抄録集**」を見てみましょう。
  - 教室における〇〇の治療成績：「わが教室の〇〇の治療成績は全国平均と同じ程度」
    - ✧ これなら「教室の〇〇の治療成績」を調べれば簡単に比較できます。
    - ✧ 仮説<sup>1</sup>の例として「教室の〇〇の治療成績は全国平均と比べ良好である」を作ります。
    - ✧ 教室の〇〇のデータベースを作りましょう。
    - ✧ 実際の教室の過去の症例データを調査し、過去の他施設の報告と比較すれば臨床研究になります。
    - ✧ **このような研究を後向き症例集積研究<sup>2</sup>**と言います。
    - ✧ 後向き研究の結果が正しいのかを前向きに検証する場合の基礎データにもなります。
  - **もっと簡単：比較するのは他施設のデータでなくても良い**
    - ✧ 仮説「教室の〇〇の治療成績は過去5年とそれ以前の5年と比較すると良くなっている」
    - ✧ 自施設のデータを比較するだけでも良い。
      - 入院日数、手術時間、合併症、薬剤の種類
      - などなど。これなら何か一つやれそうですね。
- **まずは教室のデータをまとめてみましょう。データベース作りが大事です。**
- **指導してくれる上司（メンター）を探しましょう。**
  - 学会報告・論文執筆の経験の多い上司にテーマを貰うのも良いでしょう。

後向き症例集積研究については別の項で詳しく説明しますが Q&A を参考にしてください

2021/4/1 藤井雅志

<sup>1</sup> Q&A：仮説とは何ですか？

<sup>2</sup> Q&A：後向き症例集積研究とは何ですか？